

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)			訪問国	アメリカ合衆国
学校名	静岡県立駿河総合高等学校	氏名	渡邊 心	学年	3

1. 目的・応募理由

私が留学を希望した理由は、ストリートアートを通じて自己表現の大切さや多様な価値観を学びたかったためです。特に、日本のシャッター商店街に彩りを加える方法を模索しており、現地のアート文化や人々の考え方を学び、清水に還元したいと考えています。また、日本文化を他国の人々に紹介し、異文化交流を深めることも目標にしています。

2. 研修内容

(1) 探究活動

テーマ：「ストリートアートから考える人々の思考とは」

(留学前の準備)

清水区役所と駿河区役所で商店街について調査を実施。校内で「シャッター商店街」やストリートアートのイメージについてアンケートを行いました。

結果：多くの人が言葉自体は知っているものの、その深刻さについてはあまり理解していないことが分かりました。

(留学中の活動)

現地でストリートアートを撮影し、壁や車、広告に使われているアートの多様性を発見しました。日本人3名へのインタビューを行い、現地においてストリートアートは「治安の悪さの象徴」から「クリエイティブな表現」へと変化していると分かりました。

BushWick のアート街を訪れ、アートツアーガイドから「ルーツが表現に大きく影響する」と学びました。

(成果と学び)

ストリートアートは自己表現や心の繋がりを生む手段であることを実感。

(2) アンバサダー活動

浴衣や日本食、漫画、ちいかわ、分解消しゴムなど日本文化を語学学校の友人に紹介しました。細かい模様や作りに驚き、日本文化の精密さが伝わったことを実感しました。



(3) エヴァンジェリスト活動

活動タイトル：「清水銀座商店街に彩りを！！」

目標：地域のシャッター商店街にアートを施し、商店街を活性化させる。

対象：高校生や親子

(具体的活動内容)

清水区役所と連携してシャッターの使用許可を得る。

資金集め、ボランティア募集、広告展開を行う。

3. アクティビティ

ストリートアートツアーへの参加やインタビューを通じて、現地の文化や価値観を深く理解しました。また、日本文化の紹介活動を積極的に行い、友人たちと異文化交流を楽しむことができました。そして、ホームステイ中、公園で鍵を紛失し、ホームレスの方に話しかけて助けをもらうという経験を通じて、勇気を出して行動する大切さを学びました。

4. 感想等

この留学を通じて、異文化理解や自己表現の大切さを学ぶことができました。自分の夢や未来がより明確になり、探究活動の成果を静岡県内でイベントやワークショップを通じて還元したいと考えています。

留学は「人生を豊かにする切符」であり、挑戦することで新たな成長が得られると実感しました。これからも自分の経験を活かし、行動することを大切にしていきたいと思います。

